

【学級で行う心のケア】プログラムの紹介

安心・つながり（絆）・表現づくりをめざして

日本ピア・サポート学会

被災で親や兄弟、家を津波でなくした中で、「早く学校に行きたい」と願う子どもたちは大勢います。「学校の再開・正常化」は、子供たちの心のケアそのものと言えます。

被災した子どもたちが、安全な環境で、安心してなかまとつながりをつくることで、心や身体の回復を早め、学級（学校）への適応が促進されます。

しかし、学級には被災した子どもとあまり震災の影響を受けていない子どもがいます。また、被災した子どもを転入生として受け入れる学級もあるでしょう。先生方の中には、被災した子どもたちが、うまく学級・学校に適應できるのか、心配されている方も少なくありません。

そこで、日本ピア・サポート学会では、安心・つながり（絆）・表現づくりをキーワードに、学級で行う心のケアのプログラムを作成しました。子どもたちが、子どもたちの中で癒され、本来持っている力を十分に回復させ、更に成長することをねらいとしたプログラムです。日本ピア・サポート学会のホームページ(<http://www.k3.dion.ne.jp/~peer/>)から、プログラムをダウンロードすることもできます。問い合わせや相談にも応じます。是非、ご活用ください。

なお、このプログラムは、子ども同士の安心感・つながり（絆）・表現づくりを深めるためのプログラムです。どの学年にも応用できるものなので、発達段階に応じて活用ください。

	幼稚園 ～ 小学校中学年	小学校高学年 ～ 高校
ねらい	楽しく、友だちとうまく関係をつくる活動を行い、安心して表現することができる、あたたかい思いやりあふれる学級をつくる。	自分や他者を大切にし、つながりを深めることで、様々な課題をなかまと共に解決できる学級・学校をつくる。
	心とからだを元気にしよう Part 1	ストレスと上手につきあおう Part 1
	心とからだを元気にしよう Part2	ストレスと上手につきあおう Part2
	いっしょに遊んで、友だちにインタビュー	聞き上手になろう
	あったか言葉をあつめよう	あたたかい言葉の力
	あったか言葉をつかおう	少しずつ、前にすすもう
	友だちっていいなあ、人間っていいなあ	私もできる、なかまのサポート
学校行事や日常生活のなかで	サポート活動の実施 	サポート活動の実施 